

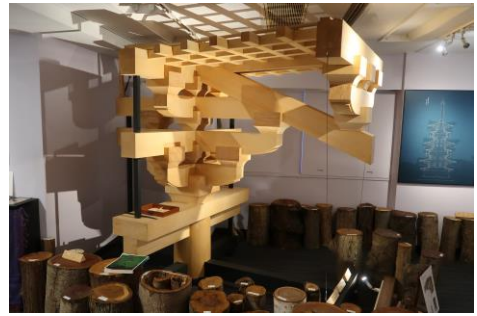
特別展「伝わるかたち／伝えるわざ——伝達と変容の日本建築」

関連企画ワークショップ

「超巨大！木組み模型を組み立て・解体しよう！」

当館初の建築展である「伝わるかたち／伝えるわざ——伝達と変容の日本建築」は、建築の様々なかたちの伝達と変容の歴史を紹介する、これまでにない展覧会です。展示の中で、寺社建築の軒を支える「組物」を取り上げ、その種類や変化について解説しています。

「組物」の仕組みや意味について理解を深めるために、高さが2.3mある薬師寺三重塔（西塔）の三手先組物模型（実物の3/4の大きさ）を来館者の皆様と一緒に組み立て、解体するワークショップを開催します。また、模型を制作した宮大工棟梁による槍鉋（やりがんな）の実演も実施予定です。



木組み博物館での展示の様子



模型の組み立ての様子

- 1 実演・解説 木組み博物館館長 谷川一雄 氏
他職員2名
宮大工棟梁 八田広明 氏
東北歴史博物館 技師 西松秀記

2 日 時 11月8日（日） 13:00～15:30

3 会 場 東北歴史博物館1階中央ロビー

4 定 員 組み上げ10名・解体10名（当日受付・先着順）
※開始時間30分前から受付・整理券配布

5 参 加 費 無料（当日有効の特別展観覧券が必要）
※対象は小学校4年生以上
（身分証明書の提示を求められる場合があります）

6 新型コロナウイルス感染防止対策について

- (1) 参加者は、受付時に氏名・住所・電話番号を申込用紙に記入いただきます。
- (2) 来館者への検温や体調確認を行います。発熱等の症状がある場合は、参加をお控えいただきます。
- (3) 参加者は、以下の取り組みを必ずお願いします。
 - ①マスクの着用
 - ②ワークショップ開始・終了時の手指の消毒
 - ③ゴム手袋（館で準備します）の着用